

2026 年 8 月 6 日

大豊建設株式会社

「豊崎～茶屋町幹線下水管渠築造工事(その2)」における
下水道工事中の事故について

令和 8 年 3 月 11 日（水曜日）午前 6 時 7 分頃、大豊・森本特定建設工事共同企業体が施工している「豊崎～茶屋町幹線下水管渠築造工事（その2）」において、土留め用の鋼製ケーシング（内径 3500 mm、深さ約 27m）が地表面に約 13m浮上する事故が発生いたしました。

本事故により、多大なるご迷惑とご不便、ご心配をおかけしました皆様に対し、改めて深くお詫び申し上げます。

昨日、大阪市建設局より、本事故の調査結果として「鋼製ケーシング浮上事故報告書」が公表されました。事故の原因は、弊社が代表会社を務める当共同企業体において、地盤特性等の事前検討およびリスク評価が不十分であった点にあります。

工事の再開にあたっては、同様の事故の再発を防止するため、浮上した鋼製ケーシングにグラウンドアンカーを設置し、鋼製ケーシングの固定を行い、再浮上を防止します。

安全には十分配慮し、施工を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上